

熊本市 市街化区域

浸水実績図

平成14年～23年

「内水はん濫」とは、降った雨が水路や下水道(雨水)などで排水できる能力を超えて、排水できなくなることにより起こる浸水被害です。このマップには、平成14～23年に市が確認した浸水発生箇所を「浸水実績」として掲載しています。よく使う道路や避難路を確認し、降雨の状況によっては通らないようにするなど、日ごろからの備えにご活用ください。

【発行】熊本市 都市建設局 河川課 TEL.096-328-2571 〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号 (平成26年5月作成)

このマップについて

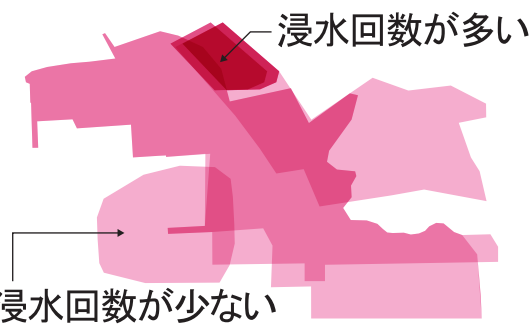
- このマップに示す浸水範囲は、熊本市に寄せられた情報をもとに、確認・整理した浸水の実績を示したものです。あくまで、熊本市で把握できた範囲での情報ですので、このマップ上で浸水範囲になっていない箇所が、浸水したことがないということではありません。
- このマップは市街化区域を対象としているため、市街化区域外の浸水実績については記載していません。また、旧植木町、旧城南町、旧富合町については、参考までに各役場にて把握されていたデータを基に記載しております。
- 水路、下水道(雨水)の整備や土地利用形態の変化などにより、この浸水実績とは異なる浸水範囲となる場合もあります。
- この浸水実績図は、河川のはん濫を考慮していません。河川のはん濫による浸水想定区域を確認する場合は、洪水ハザードマップをご参照ください。

施設等凡例

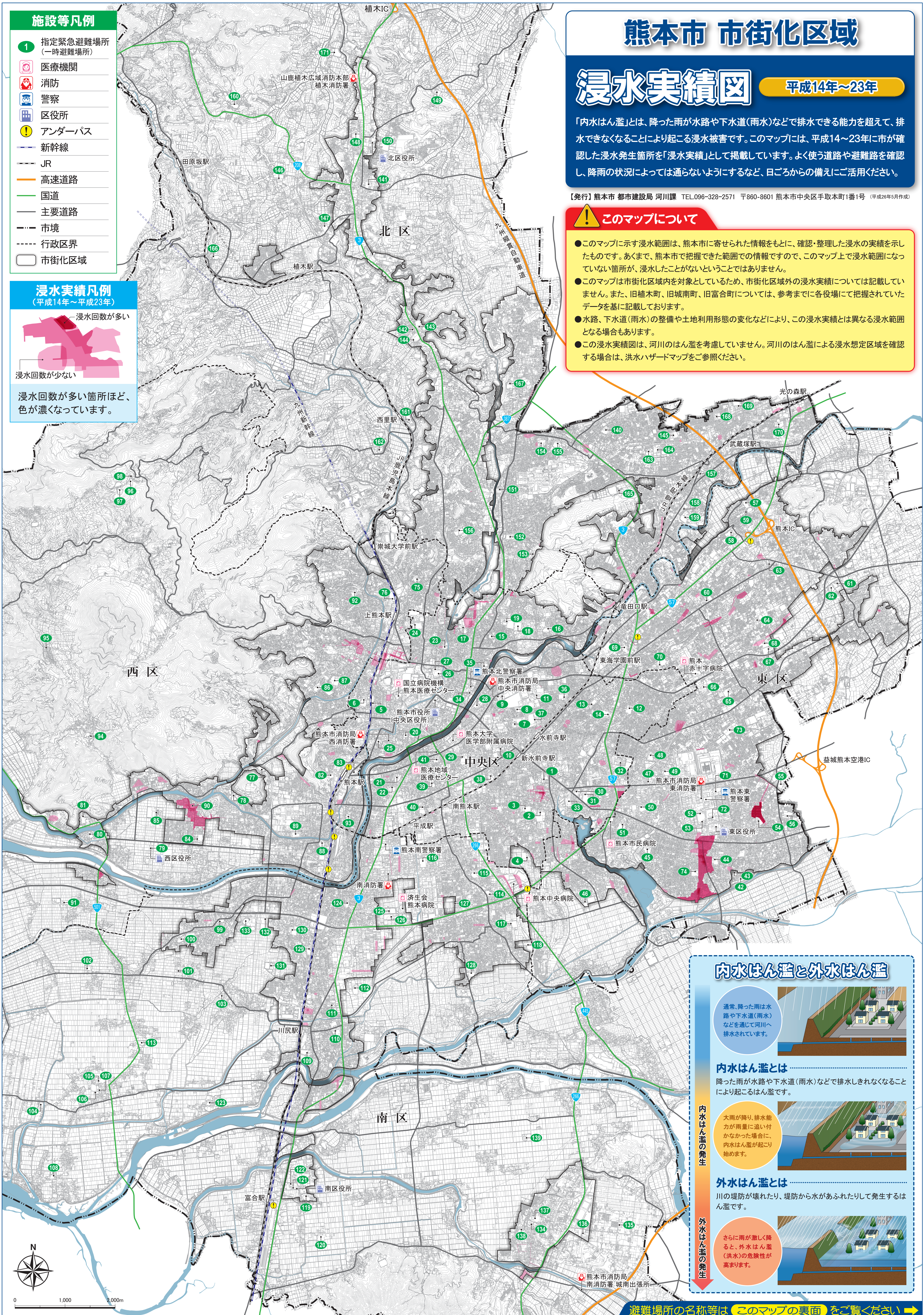
- 1 指定緊急避難場所(一時避難場所)
- 医療機関
- 消防
- 警察
- 区役所
- アンダーパス
- 新幹線
- JR
- 高速道路
- 国道
- 主要道路
- 市境
- 行政区界
- 市街化区域

浸水実績凡例

(平成14年～平成23年)

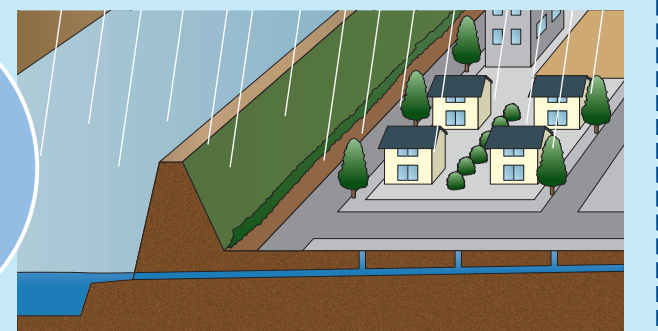


浸水回数が多い箇所ほど、色が濃くなっています。



内水はん濫と外水はん濫

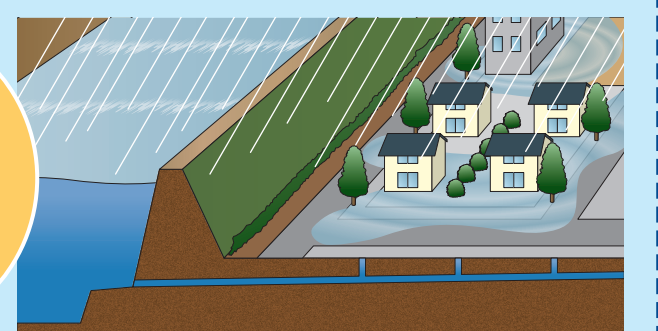
通常、降った雨は水路や下水道(雨水)などを通じて河川へ排水されています。



内水はん濫とは

降った雨が水路や下水道(雨水)などで排水しきれなくなることにより起こるはん濫です。

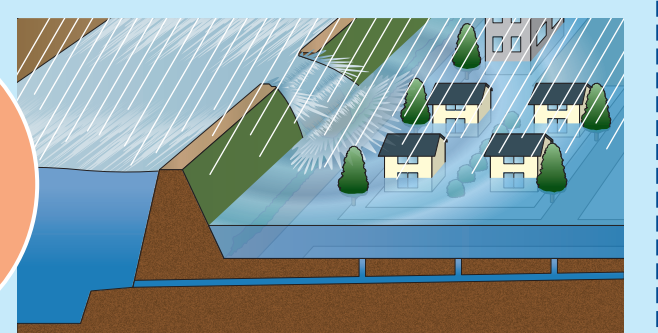
大雨が降り、排水能力が雨量に追い付かなかった場合に、内水はん濫が起これば、内水はん濫の発生が始まります。



外水はん濫とは

川の堤防が壊れたり、堤防から水があふれたりして発生するはん濫です。

さらに雨が激しく降ると、外水はん濫(洪水)の危険性が高まります。



避難場所の名称等は **このマップの裏面** をご覧ください ➡